

『マブラヴ オルタネイティヴ』から派生した完全新作オリジナルストーリー



全年齢版 PC専用ゲームとして、2010年初頭発売予定。  
2012年にアニメ化することが決定した。

- [ストーリー\(TECH GIAN\)](#)
  - [Vol.01](#)
  - [Vol.02](#)
  - [Vol.03](#)
  - [Vol.04](#)
  - [Vol.05](#)
  - [Intermission#01](#)
  - [Intermission#02](#)
  - [Vol.06](#)
  - [Vol.07](#)
  - [Vol.08](#)
  - [Intermission#03](#)
  - [Vol.09](#)
  - [Vol.10](#)
  - [Vol.11](#)
  - [Vol.12](#)
  - [Vol.13](#)
  - [Vol.14](#)
  - [Vol.15](#)
  - [Vol.16](#)
  - [Vol.17](#)
  - [Vol.18](#)
  - [Vol.19](#)
  - [Vol.20](#)
  - [Vol.21](#)
  - [Vol.22](#)
  - [Vol.23](#)
  - [Vol.24](#)
  - [Vol.25](#)
  - [Vol.26](#)
  - [Vol.27](#)
  - [Vol.28](#)
  - [Vol.29](#)
  
- [Tactical Surface Fighter in Action\(ホビージャパン\)](#)
  - [#09 「Connection of blood」](#)
  - [#10 「The Killing Fields」](#)
  - [#11 「Crimson jungle」](#)
  - [#12 「The tyrant's accession to the throne」](#)
  - [#13 「Battle of Rhodes」](#)
  - [#15 「Red Star Rising」](#)
  - [#19 「The World Worth Fighting For」](#)
  - [#35 「Incarnadine」](#)
  
- [MUV-LUV ALTERNATIVE TSF CROSS OPERATION](#)
  - [誰が故郷を想わざる](#)

- 登場人物

- ユウヤ・ブリッジス
- 篁 唯依
- クリスカ・ビャーチェノワ
- イーニア・シエスチナ
- タリサ・マナンダル
- ヴィンセント・ローウェル
- ヴァレリオ・ジアコーザ
- ステラ・ブレーメル
- イブラヒム・ドーウル
- フィカーツィア・ラトロワ
- 崔 亦菲(ツイ・イフェイ)
- レオン・クゼ
- シャロン・エイム
- 巖谷 榮二
- 大伴 忠範
- イエージー・サンダーク
- クラウス・ハルトウィック
- ハルトウィック大佐の秘書官
- ジョージ・プレストン
- ヴァジリー・アターエフ
- マイク・フォード
- ジェプロフスキー
- スタニスラフ・ニコラエヴィチ・ゼレノフ
- ギブソン
- フランク・ハイネマン
- ナスターシャ・イヴァノワ
- キーラ
- トーニャ
- ブドミール・ロゴフスキー
- イゴーリ・ベリャーエフ
- ゲーオルギー・バラキン
- オルロフ
- ミラ・ブリッジス
- ガイロス・マクラウド
- キース・ブレイザー
- "指導者(マスター)"
- "執事(バトラー)"
- ヴァレンタイン
- ジゼル・アジャーニ
- クリストファー
- 鎧衣 左近
- 香月 夕呼(未登場)

- 戦術機

- TSF-TYPE00F 武御雷(黄)
- TSF-TYPE94-1C 不知火 壱型丙
- TSF-TYPE94 不知火
- Su-37UB TERMINATOR
- F-15E STRIKE EAGLE
- F-15ACTV ACTIVE EAGLE
- TSF-TYPE97 吹雪 97式戦術歩行高等練習機
- XFJ-01a/b 不知火 貳型

- フェイズ1

## フェイズ2

- Su-37M2 TERMINATOR
- Su-27SM
- J-10 殲撃(ジャンゾ)10型
- F-22A ラプター先行量産型

### • 用語

- ユーコン基地
- 先進戦術機技術開発計画
- 国連軍作戦試験部隊
- フェニックス構想
- XFJ計画
- 3計画
- アルゴス試験小隊
- イーダル試験小隊
- ジャール大隊
- インフィニティーズ
- 暴風(ハオエン)試験小隊
- ドゥーマ小隊
- アズライール実験小隊
- ガルータ実験小隊
- グラーフ実験小隊
- スレイヴニル小隊
- ガルム実験小隊
- 名称不明
- カムチャツカ地方
- 国連印度洋方面第1軍 アンダマン基地群

## ☐ ストーリー([TECH GIAN](#))

### Vol.01

<http://www.total-eclipse.jp/te/story01.html>  
(TECH GIAN 2007年2月号掲載)

### Vol.02

<http://www.total-eclipse.jp/te/story02.html>  
(TECH GIAN 2007年3月号掲載)

### Vol.03

<http://www.total-eclipse.jp/te/story03.html>

テストパイロットとして、アルゴス試験小隊の一員となった主人公・ユウヤ。そんな彼の着任祝いとして、戦術機の2機編隊同士による廃墟市外戦が行われることに。そこでユウヤが操るF-15Eは、ネパール軍所属のタリサが操るF-15ACTVと相対することになるのだが.....。  
(TECH GIAN 2007年4月号掲載)

### Vol.04

<http://www.total-eclipse.jp/te/story04.html>

日米共同の戦術機開発計画"XFJ計画"の専任パイロットとしてアルゴス試験小隊に配属された主人公・ユウヤ。彼は、ソビエトテストチームから急遽提案された東西両陣営の合同テストに参加することになるのだが、彼に与えられた機体は、帝国軍の高等練習機・吹雪だった。ユウヤは初めて体験する帝国製戦術機の特性になかなか慣れることができず、苦戦を強いられるのだが.....。  
(TECH GIAN 2007年5月号掲載)

### Vol.05

<http://www.total-eclipse.jp/te/story05.html>  
(TECH GIAN 2007年6月号掲載)

### Intermission#01

<http://www.total-eclipse.jp/te/story06.html>  
(TECH GIAN 2007年7月号掲載)

### Intermission#02

<http://www.total-eclipse.jp/te/story07.html>

不知火・式型の耐環境訓練のために南の島を訪れたアルゴス小隊と"紅の姉妹"が所属する東側試験小隊。だが、国連軍広報官の提案で開催されることになった東西対抗のボートレースの最中で、唯依とペアを組んでいたクリスカが急に倒れてしまう。そしてユウヤが彼らを救出するために駆けつけるも、3人を乗せた軍用ボートは沖へと流されてしまうのだった！遭難したユウヤたちの運命は？そして裏でうごめく陰謀とは!?  
(TECH GIAN 2007年8月号掲載)

### Vol.06

<http://www.total-eclipse.jp/te/story08.html>

## □ 登場人物

- ・ メインキャラクター

### ユウヤ・ブリッジス



【CV：小野大輔】  
米陸軍所属の少尉。  
『XFJ計画』の首席開発衛士として不知火・弐型に搭乗。  
初の実戦では99型電磁投射砲で驚異的な戦果を挙げた。  
米国人の母と日本人の父を持つが、幼少期の人種差別体験に端を発する失踪した父親への憎悪が転じ、日本に対して嫌悪感を抱いている。  
コールサインはアルゴス1

### 篁 唯依



【CV：中原麻衣】  
『XFJ計画』の日本側開発主任を務める帝国ス衛軍中尉。  
譜代武家である篁家の当主であり実直で生真面目、他人に厳しく己にも厳しいという正に堅物。  
衛士としても優秀であり、かつてはス衛軍の実戦部隊、白き牙中隊の中隊長を務めていた。  
その生まれと立場から常に私情を抑えて生きて来たため、恋愛感情に対する自覚や制御に疎く、自身の恋心を持た余している。  
コールサインはホワイトファング1  
誕生日：3月13日

### クリスカ・ビャーチェノワ



【CV：生天目仁美】  
ソビエト連邦軍少尉。  
『紅の姉妹』の異名を持つSu-37UB チェルミナートルの開発衛士。  
排他的で冷笑的な性格だが、パートナーであるイーニャに対しては肉親

## □ 戦術機

### TSF-TYPE00F 武御雷(黄)



[詳細](#)

斯衛軍の衛士で武家の出身である篁唯依中尉は、黄色の武御雷を搭乗機としている。  
<http://www.total-eclipse.jp/te/mechanics.html>

### TSF-TYPE94-1C 不知火 壱型丙



[詳細](#)

<http://www.total-eclipse.jp/te/mechanics02.html>  
<http://www.total-eclipse.jp/te/mechanics03.html>

### TSF-TYPE94 不知火

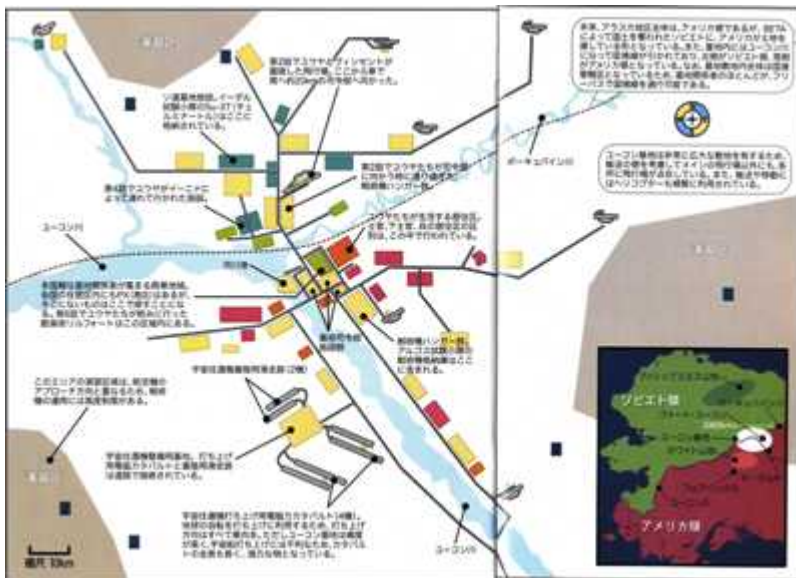
[詳細](#)

<http://www.total-eclipse.jp/te/mechanics04.html>

### Su-37UB TERMINATOR

# 用語

## ユーコン基地



アラスカの防衛力強化を急いでいた米国国防省は、アラスカに於ける新基地建設予定地のひとつに、広大な土地面積を持つアラスカ州ユーコン平原を検討していた。ところが、その計画中にアラスカ北西部をソビエト連邦に租借する条約が締結されたため、ユーコン平原は突如「国境地区」となり、基地建設予定地は「国境線」で分断されることになる。そのため基地建設計画の再検討を迫られたアメリカ国防省だが、ユーコン平原に「米軍基地」ではなく「国連軍基地」を建設するという新たな案が浮上した。

BETAがユーラシア大陸北部を席卷する中、国連軍事参謀委員会は北米大陸の防衛力強化と同時に、対BETA兵器開発に於いて各国の相互協力・情報公開のための機関を設立することを提言する。アメリカ・ソビエトの新たな国境となったユーコン平原は、その拠点となる中立地帯として都合がよかったのである。この提案は米政府にとっては、国連基地とすることによって国境線をまたがる基地を建設できるので好都合だった。また、自国政府で新たに基地を作る十分な余力がないソ連政府にとっても、ユーコン平原に国連軍基地を作ることに反対する理由はなかった。

かくしてユーコン平原に国連軍基地が建設されることになった。ユーコン平原の中心にあるフォート・ユーコンには、それまで小規模な飛行場とレーダー施設があるだけだったが、ハンガー、演習支援施設、研究棟、住居地など次々と施設が拡張されていった。周囲の広大な土地は、ごく一部の先住民保護地域や自然保護地域を除き、そのまま広大な演習場となった。

またユーコン川とポーキュパイン川の合流地点には河川港が建設された。噴水が深い船は川に入らず、冬には川は凍結してしまうが、この河川港は物資輸送に大きな役割を果たした。アラスカ第2の都市であるフェアバンクスから、フォート・ユーコンの南東約100kmにあるサークル村まで通じていたハイウェイは、フォート・ユーコンまで延長された。フォート・ユーコン周辺には複数の大型飛行場が用意され、さらに宇宙往還機用の着陸滑走路とカタパルトも建設された。ユーコン平原は盆地のため、北部のフィリップスミス山地と南部のホワイト山地に、それぞれ衛星通信などを補佐するための基地も建設された。

元来のフォート・ユーコンは、ネイティブ・アメリカンを中心にした人々が暮らす、人口1000人にも満たない町だったが、世界各地から軍人とその家族が集まってきて、一気に人口10万人以上の巨大軍事都市として生まれ変わるようになったのである。

## 先進戦術機技術開発計画

(Advanced Tactical Surface Fighter/Technology And Research Project)



通称「プロミネンス計画」

ユーコン基地を拠点に、国連主導で世界各国が情報交換や技術協力を行い、より強力な戦術機を開発する計画である。

この計画は競争原理の導入によって各国の戦術機開発を促進する一方、